



## SI2 新領域事業（Universal NTN）仮想化プラットフォーム技術開発エンジニア

スカパーJSAT株式会社での募集です。法人営業（その他）のご経験のある方は歓迎です。

### 募集職種

#### 人材紹介会社

株式会社ジェイ エイ シー リクルートメント

#### 採用企業名

スカパーJSAT株式会社

#### 求人ID

1574065

#### 業種

通信・キャリア

#### 雇用形態

正社員

#### 勤務地

東京都 23区

#### 給与

600万円～900万円

#### 勤務時間

09:30～17:30

#### 休日・休暇

【有給休暇】4月～9月までは入社日より10日付与となりますが、10月入社から減算される形となり、次年度4月には17日が付与されます...

#### 更新日

2026年01月22日 15:18

### 応募必要条件

#### キャリアレベル

中途経験者レベル

#### 英語レベル

流暢

#### 日本語レベル

ネイティブ

#### 最終学歴

高等学校卒

#### 現在のビザ

日本での就労許可が必要です

### 募集要項

【求人No NJB2318683】

#### ■ミッション

主に以下の業務を担当していただきます。（事業の拡張により内容も変化します）

（１）仮想化プラットフォーム技術開発のリード

・ Universal NTNの仮想化プラットフォーム技術開発の全体計画策定、実行、進捗管理

・ 仮想化インフラの設計、実装、最適化、および運用

・ NFV（Network Function Virtualization）/MANO（Management and Orchestration）、Kubernetes、FPGA技術の導入と適用

（２）技術要件の定義および設計

- ・無線通信インフラの仮想化基盤に関する技術要件の定義および設計
- ・高性能でスケーラブルな仮想化プラットフォームの構築
- ・クラウドネイティブアーキテクチャの採用および最適化
- (3) 技術開発および検証
  - ・仮想化技術を用いた新しい通信インフラソリューションの開発・検証
  - ・FPGAの利用を含む高速データ処理および低遅延技術の開発・検証
  - ・オーケストレーションおよび自動化ツールの開発および導入
- (4) 技術調査および評価
  - ・最新技術の調査および評価、技術トレンドのフォロー
  - ・仮想化技術のパフォーマンス評価およびベンチマークテストの実施
- (5) コラボレーションおよびベンダー管理
  - ・社内外の関係者やベンダーとの技術的な協力および調整
  - ・ベンダー管理、技術的な打ち合わせおよび問題解決

#### ■期待する役割

NTN事業部に所属していただき、「仕事の内容」の業務について担当いただきます。プロジェクトのメンバーとともに技術や事業の開発を進め、その後の経験等により、プロジェクトの主査やリーダーなどを担っていただくことを期待しています。

## スキル・資格

#### 【必須要件】

- ・無線通信インフラの仮想化基盤の開発に関する5年以上の実務経験
- ・NFV/MANO、Kubernetes、FPGAに関する知識および実務経験
- ・仮想化技術（仮想マシン、コンテナ、マイクロサービス等）に関する深い理解
- ・高い問題解決能力および技術的リーダーシップ
- ・優れたコミュニケーション能力およびチームコラボレーション能力
- ・ビジネス英語力（海外ベンダー・パートナー企業との交渉・調整が可能なレベル）

#### 【歓迎要件】

- ・クラウドネイティブアーキテクチャの設計および実装経験

#### 【求める人物像】

- ・未踏領域に積極的にチャレンジし、新しいものを創出することを楽しんで取り組める方
- ・社内メンバーと適切なコミュニケーションが取れる方
- ・国内外の交渉相手とバランス感覚をもって接することができる方。嫌われることを恐れず、ダメなものはダメとはっきり断れる方。
- ・指示待ちではなく、自ら考えて行動できる方

## 会社説明

■メディア事業：デジタル放送を運営するプラットフォーム事業者として、有料多チャンネル放送サービス「スカパー！」を運営※2021年現在、加入者数310万人■宇宙事業：日本全国はもちろんアジア全域・オセアニア・ロシア・中東・ハワイ・北米をカバーし衛星通信サービスを提供しています。衛星通信ネットワークは災害時にも途絶することがないため、全国の自治体や電気・ガス・石油などライフラインを支える多くの企業に防災・危機管理の通信インフラとして導入されるなど、暮らしの安心・安全を支えています。高品質のデジタル映像をリアルタイムで一斉配信できる衛星通信は、教育・医療・ビジネスなど幅広い分野でも活躍しており、山間部や離島、飛行機・船舶といった移動体などの地上回線での対応が難しい領域でも衛星通信は重要な存在となっています。今後、先端技術や新しいアイデアをもつ国内外のパートナーと組み、低軌道衛星ビジネス、衛星画像サービス、情報分析サービスなどの幅広い宇宙ビジネス領域も拡大していきます。

※2020年現在、衛星保有数 19機